週刊ビル経営

平成29年 7 月10日

SD建築企画研究所

「第50回REB－1000社の会」が開催

普段よりも多くの人が来場

代表取締役
清水　修司氏

今月5日、建築・不動産事業を展開するSD建築企画研究所（東京都渋谷区）代表取締役の清水修司氏が理事長を務める「第50回REB－1000社の会」が、「SYDホール」で開催された。

「REB－1000社の会」は、建築・不動産事業者による勉強会や情報交換、業界内での人的交流の促進を目的とした会で、これまでも定期的に開催されてきた。今回は「地震は必ず予測できる！ ～測量学の権威である東大名誉教授が生み出した画期的な予測法とは～」と題し、地殻を監視して地震を予測することに成功している東京大学名誉教授の村井俊二氏による講演が第1部で行われた。

村井氏は教授職を務める傍ら、地震科学探査機構の会長も務めており、全国の地震予測情報の配信アプリ「MEGA地震予測」の普及促進も行っている。これは国内1300カ所以上に設置されたアンテナを利用し、地震前に異常に動く地質の情報から地震発生を予測したアプリ。非常に高い確率で地震の発生を予測できており、2016年4月に発生した熊本地震や今年6月に発生した長野での地震についても事前に警告を発していた。

村井氏は「地震が近々発生するだろうという情報を発信してから、実際に起きるまでに2、3日～3週間の日数の空きがあります。ですが『MEGA地震予測』から得た情報によって、少しでも地震に対して危機意識を感じて行動して頂けたら、それだけ助かる人も増えると思います」と語った。

また講演の冒頭や終盤にも首都圏における地震の発生を警告する。現在、地震発生を予測及び警告してから数カ月が経過しており、何時発生してもおかしくない状況だ。村井氏は「事前に来ると認識していれば、地震に対しての心の構や備えも施せる」と話し、改めて「MEGA地震予測」の利用を訴えた。因みに今月はお得なキャンペーン期間中。少しでも気になった人は気軽に利用して欲しいと進める。

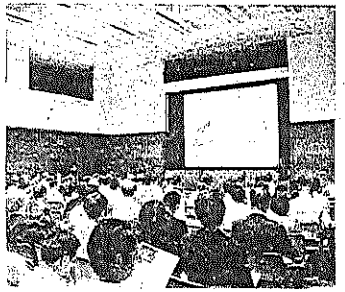
また第2部は「不動産市況のトップアナリストが語る！ 歴史の賢人たちの警告 ～静かなるバブルが崩壊する時～」と題し、ドイツ証券（東京都千代田区）株式調査部で建築・不動産担当の大谷洋司氏が講演した。大谷氏は働き手である若年層が減少している状況の中で来年・再来年とオフィスの大量供給があること、またマンションの開発も活発であることに対し、来年に入る前の今年末から不動産市況が右肩下がりになると予想する。それも当分の間、回復する見通しもないことを指摘した。

大谷氏は「働き手の減少に対して、新規供給が非常に多いと感じました。オフィスの拡張で移転する企業が限られてくる中、新規供給が増える来年はどうなるか非常に注目です」と語り、事前の備えも必要と語った。

講演会の最後には、瑞宝興業（東京都渋谷区）代表取締役で不動産経営社倶楽部法務部会・座長の稲垣俊勝氏も登壇し、同氏が出版した「マンガでわかる『固定資産税破産！』全国で続出する評価ミス・過大徴収」の紹介も行われた。

また今回の講演終了後も情報交流会が盛大に開催され、理事長を務める清水氏は「今回の『REB－1000社の会』は50回目という節目の会。その記念すべき会に普段よりも多くに人が来場して頂けました。今後も引き続き、開催していきますので宜しくお願いします」と語った。

▶懇親会の様子



▶200名以上が参加

▶最後に登壇した稲垣氏